

# 常新新聞

刊夕日六十月三

第一版 五錢  
 第二版 五錢  
 第三版 五錢  
 第四版 五錢  
 第五版 五錢  
 第六版 五錢  
 第七版 五錢  
 第八版 五錢  
 第九版 五錢  
 第十版 五錢  
 第十一版 五錢  
 第十二版 五錢  
 第十三版 五錢  
 第十四版 五錢  
 第十五版 五錢  
 第十六版 五錢  
 第十七版 五錢  
 第十八版 五錢  
 第十九版 五錢  
 第二十版 五錢  
 第二十一版 五錢  
 第二十二版 五錢  
 第二十三版 五錢  
 第二十四版 五錢  
 第二十五版 五錢  
 第二十六版 五錢  
 第二十七版 五錢  
 第二十八版 五錢  
 第二十九版 五錢  
 第三十版 五錢  
 第三十一版 五錢  
 第三十二版 五錢  
 第三十三版 五錢  
 第三十四版 五錢  
 第三十五版 五錢  
 第三十六版 五錢  
 第三十七版 五錢  
 第三十八版 五錢  
 第三十九版 五錢  
 第四十版 五錢  
 第四十一版 五錢  
 第四十二版 五錢  
 第四十三版 五錢  
 第四十四版 五錢  
 第四十五版 五錢  
 第四十六版 五錢  
 第四十七版 五錢  
 第四十八版 五錢  
 第四十九版 五錢  
 第五十版 五錢  
 第五十一版 五錢  
 第五十二版 五錢  
 第五十三版 五錢  
 第五十四版 五錢  
 第五十五版 五錢  
 第五十六版 五錢  
 第五十七版 五錢  
 第五十八版 五錢  
 第五十九版 五錢  
 第六十版 五錢  
 第六十一版 五錢  
 第六十二版 五錢  
 第六十三版 五錢  
 第六十四版 五錢  
 第六十五版 五錢  
 第六十六版 五錢  
 第六十七版 五錢  
 第六十八版 五錢  
 第六十九版 五錢  
 第七十版 五錢  
 第七十一版 五錢  
 第七十二版 五錢  
 第七十三版 五錢  
 第七十四版 五錢  
 第七十五版 五錢  
 第七十六版 五錢  
 第七十七版 五錢  
 第七十八版 五錢  
 第七十九版 五錢  
 第八十版 五錢  
 第八十一版 五錢  
 第八十二版 五錢  
 第八十三版 五錢  
 第八十四版 五錢  
 第八十五版 五錢  
 第八十六版 五錢  
 第八十七版 五錢  
 第八十八版 五錢  
 第八十九版 五錢  
 第九十版 五錢  
 第九十一版 五錢  
 第九十二版 五錢  
 第九十三版 五錢  
 第九十四版 五錢  
 第九十五版 五錢  
 第九十六版 五錢  
 第九十七版 五錢  
 第九十八版 五錢  
 第九十九版 五錢  
 第一百版 五錢

## 現内閣の 經濟政策批判

(十七) 三士忠造

其上に大正十四年には爲替相場は不幸にして非常に安かつた、即ち一時は三十八弗半まで下つたのであつて二割五分以上の下落であるから、それだけ外國の品物を買入れるに不便にして日本の品物を賣るのに都合が好いので、自然輸入金高が増進せしめて輸出金高が増進したのである、即ち震災關係が薄らぐと同時に一面に於て爲替相場が安かつた爲に非常に貿易の輸入超過

が激減して來た、それを全部憲政會の手柄であるかの如く吹聴すると云ふが如きは、事實を誣ふこと甚しいものである、貿易の状態は改善されたが改善されたこと云ふことは、震災當時に比して良くなつたと云ふに過ぎないのである、決して日本の貿易の根柢から立直つたのではない、十四年の輸入超過の減つたのは爲替相場の關係であつて、隨て大正十五年度は如何であるか、大正十五年度は再び輸入超過が増加して居る、即ち大正十四年には二億六千萬圓まで減少したものが昨年には三億三千万圓にまで上

つて居る、即ち爲替相場の恢復の結果である、貿易が好くなれば國際貸借の關係が好くなる、隨て爲替相場が恢復するのは當然である、即ち爲替相場の恢復には二つの原因がある、右に云つたやうな原因と其外一つの有る原因があつた、即ち我國の貿易状態が多少好くなつて、爲替相場が漸次恢復すれば、多分日本政府は金輸出の解禁を断行するであらうと云ふ見込からして主として亞米利加人が我國の圓爲替に對して思惑買をしたのである、是が即ち爲替相場の恢復の一つの原因である、(つゞく)

### 胃腸

内科 専門  
十二指 腸虫病

### 梅毒

淋病 婦人病  
疝包 専門  
門病 病

院病村松

平町四丁目 電話七〇一

### 店員募集

一、小學校卒業程度 五名  
 一、商業學校卒業生 二名  
 御希望の御方は店則並に詳細御面談可致に付至急御申込被下度候

三井呉服店  
平町三丁目 電話三十八番

### 栗守酒

好評噴々たる  
 トリ印人參サフラン葡萄酒と  
 美味ポトワインは  
 目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を

事實は雄辯に語る!!  
 代表的養素として本劑の効力は既に萬人の賞讃を得、特約店として弊店の最も光榮とする所あります!!  
 平町一丁目(電話六四二番)  
 特約店 大平屋藥舖  
 代價金壹圓九拾錢也  
 八日分(六百五拾瓦入)

山野邊藥局  
 平町五丁目角

### ヒヨケ・シート・テント

數島ヒヨケ店  
警城平町南白銀町九—電話シキ、又ハシ

### 診察無料 其他實費

## 平町實費病院

看護婦或ハ見習高給ニテ募集  
 平町郵便局裏(電話五五一番)

### 和洋裁縫教授

和服一般  
 婦人洋服  
 小供洋服

## 阿部裁縫塾

平鍛治町(電話二四六番)

### 印半天專門

優秀品の証明  
 草野染工場  
 電話三四八番  
 警城平町

### 生徒募集

高等女學部 五十名  
 師範部 五十名  
 技藝部高等科 百名  
 同 速成科 五十名

### 私立平陽實科女學校

入學資格  
 高等女學部並ニ技藝部、高等科、ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ  
 高等科卒業生ハ選考ノ上高等女學部二年ニ入學ヲ許ス  
 願書提出ハ三月三十一日限リ  
 平町字搔槌小路

### 成田山大護摩修行 團體募集

一、出發解散  
 三月二十二日午前六時五十九分平發  
 午後二時成田着  
 翌二十三日早朝大護摩修行午前十時頃成田解散  
 一、會費 金八圓五拾錢也  
 但 片道汽車賃、車中食費、成田一泊諸費、大護摩修行費、箱札代、坊入諸費、其他解散迄ノ諸費一切ヲ含ム  
 一、御申込  
 三月十五日迄左記へ御申込下サレ度會費同時ニ御拂込ノコト  
 平町五丁目  
 爲信仰諸士 井上貞治郎  
 電話六六番  
 ◎大新榮講々中諸氏ニハ之ヲ以テ御通知ニ代フ

### 新入學のお祝に……

本紙愛読者の御家庭に若し本年小學校へ御入學のお子さんがありませば吉例に依つてお祝の印に四月分の本紙を無代進呈する事とし購讀料を載せませんから本月末配達係が集金に參上の際御遠慮なく御申傳へをお願ひ致します

常警毎日新聞社

### 優良納税表

自治制記念日に

平町にては來月一日自治制記念日を卜し午前十時より平第一小學校講堂に於て優良納税組合及び管理者の表彰式を舉行する筈であるが受賞者は組合九十組、管理者九名にて管理者の受賞資格は五年以上勤続して成績優良なる者である

### 出張所開設

搔樋小路にて

石城郡四倉銀行にては平町有者のために依り今回同町搔樋小路一番地(堀江工業の西隣)に出張所を開設し一般銀行事務を取扱ふ事になつた

### 早く寄留を

平役場の通牒

本年度就學すべき児童は本年四月二日から同十年四月一日迄の期間内に出生した者であつて是等のものゝ内戸籍及び寄留簿の現住所と同一の児童に對しては平町役場より去る五日迄に

### 櫻井賢文氏が作った

#### 女性を壽ぐ純情の歌

童謡踊りと話の會で披露

當日のプログラム

通俗講話界の泰斗久留島武彦氏及び舞踊界の第一人者若柳吉三郎師夫妻とその社中を招聘し來る十九、廿の兩日平劇場に催される藤田女學校同窓會主催の「童謡踊りと話の會」は極めて機宜を得た催しとして一般の視聽を集めて居るが當日同校生徒合唱團に依り始めて披露される警城高等女學校長櫻井賢文氏作、東京音楽學校教授信時潔氏曲の校歌

は、(一)紫匂ふゆかりの花を(二)紫匂ふゆかりの花を(三)秀眞の國のひじりの御代に、さちあるこの身さ、げもちて、朝な夕なにつくしまつらむ、君と家との歌詞であつて女性を壽ぐ純情に満ちて居る因に當日の講演者及び童謡踊りの歌題は左記の如くである

### 個人消息

▼伏見彦衛氏(平町長)水道問題行政訴訟の件に關し岩田博士と打合せの爲め本日上京

▼諸橋久太郎氏(釜屋主人)松ヶ岡公園辨天池に唐金製「女神」の噴水塔を寄附する由

### 自動車取締

平署が嚴重に

平署管内には自動車激增の方法は先づ染鍋に適量の水又は微温湯を用意し、他の器に入用だけの染料錠をとかして其一部を加へこれによく濕した品物をくり込みかくはんしながら順に残の染液を加へ中途で染着劑として品物百々に對し二百乃至八百分ばかりの醋酸を入れ、次第に加熱して沸騰



手輕な染方(上) 家庭欄

(一)紫匂ふゆかりの花を(二)紫匂ふゆかりの花を(三)秀眞の國のひじりの御代に、さちあるこの身さ、げもちて、朝な夕なにつくしまつらむ、君と家との歌詞であつて女性を壽ぐ純情に満ちて居る因に當日の講演者及び童謡踊りの歌題は左記の如くである

森本盛一、永山和平、岡田次作、高橋龜松、阿部兼治、小泉重藏、大谷久藏、佐藤久吾、叶多銜治、坂本隆藏、草野順平、羽岡平三郎、山崎清三、丹野榮三郎、小野園次郎、柏原幸次郎、今平富次郎

柳田榮太郎、猪狩庄平、吉田由三郎、中野甲藏、阿部太平、小原喜八、馬目玉彌、芹澤忠次郎、花澤久一郎、長谷川徳代、大河原金之助、安瀬ミサヲ、酒井國三郎、曾我直治、中野勇吉

### 労働爭議の 經過真相

警城炭礦 警務課發表

(その二)

『全山爭議團』を「従業員」と改めた上出し放しの儘何等の説明も加へず意見も陳べず退去した。

彼等は要求書提出と前後して流言蜚語を放ちあらゆる悪宣傳を行ひ従業者の心胸攪亂に努め、事態漸く悪化したので遂に其筋よりの注意もあり會社幹部關係職員警務員出動して警戒に努めることとなつた、會社では二十八日代表者従業員九名が面會を求めたるにより

左の如き回答を與へた

- 第一 山代、佐々木、栗谷三名復職ノ件ハ山代、栗谷、佐々木ノ兩名ノ復職ハ遺憾ナガラ出來ナイ粟谷君ハ本人自身會社ニ出頭シ會社ト遺族扶助料ノ件ニツキ争フ事ヲ斷念シ今後誠心誠意働クト云フ申出ヲスレバ會社ニ於テ考慮スル
- 第二 賃金ノ値上ゲ
- 第三 労働時間ノ短縮
- 第五 飯場制度並組長制度ノ徹底的改善
- 第六 鶴燒賃安全燈料ノ會社負擔
- 第十 全従業員及其家族

右に就ては日本全國の炭礦は今最も非況のごん底にあり當會社としても現今の經濟状態では到底出來ない

- 第十三 豫後備召集ノ場合ハ其當時ノ稼賃金ノ半額及旅費支給
- 第十四 簡閱點呼ノ場合日給及旅費ノ支給
- 第十五 爭議ノ犠牲者ヲ出ササルコト
- 右二つは豫て警務會より之と同じ要求が出て居るがまだ回答してゐないから警務會に回答する迄保留したい
- 第七 坑内外作業設備ノ改善
- 第八 白米ノ改善
- 第九 衛生設備ノ改善
- 第十二 醫者ノ不親切ナ

此の四つは會社で從來も充分研究して誠意を以つてその改善に當つて居ることであり、此後は尙一層調査研究の上改善に骨を折る。

之も要求に應ずるわけに行かない、右で回答済になつた譯であるが終りに御參考にまで總括的に會社の意のある所を申上げる、それは今後會社は尙一層會社經濟の許す範圍に於て一般従業員諸君の福利の増進に努力する決心である、

し超えて一月三十日信賴すべき調停者が現れたが然し非公式で非表面的であつた當時其の調停者から「組合側では今回の紛擾は第一名分を欠き殆んど失敗に終らんとする觀があるのだから無條件調停して貰ひたいと云ふ申出である只今回の紛擾事件に就て誠意を出さない事にして貰ひ度いといふことであるから會社側でも何んとか考へて貰ひたいものである」といふ話があつた

果調停者に對する禮を思ひ御大葬前でもあり涙をのんで一任したのであるが之は成立に至らなかつた